

情報の光と影

- 心理的コストの低いコミュニケーションの光と影 -

1 ~ 6 . 前回の話

コンピュータを介したコミュニケーション(Computer Mediated Communication; CMC)

どこでも、いつでも、だれにでも、顔を合わせなくていい

情報送受信のコストの制約の解放

心理的コストの低いコミュニケーション

7 . 顔の見えないコミュニケーションの「優しさ」

CMC だからできるコミュニケーション

専門情報へのアクセス

距離の制約の解放, 時間の制約の解放, 社会的制約の解放

個別情報の提供

対象の制約の解放

障害者の社会参加

距離の制約の解放, 社会的制約の解放 偏見・格差が解消

コミュニケーションエイド

コンピュータなどの技術を利用してコミュニケーション支援

ハンディキャップの解放

癒しのコミュニケーション

距離の制約の解放, 社会的制約の解放, 自己開示の制約の解放

8 . 情報発信のモラルが未確立

コンピュータコミュニケーションは, 情報発信を個人でできる

発信のモラルが確立していない。

情報過多

情報が氾濫し, 必要な情報が取り出せない

伝達意図の誤解

非言語情報(表情, 身振り, パラ言語など), 社会的情報などの手掛りが伝わらない

伝達意図の誤解

公序良俗に反する情報の発信

猥褻画像, 差別発言, 犯罪誘発情報, 暴力映像

ネット上の喧嘩(フレーミング)

誹謗中傷などの発言

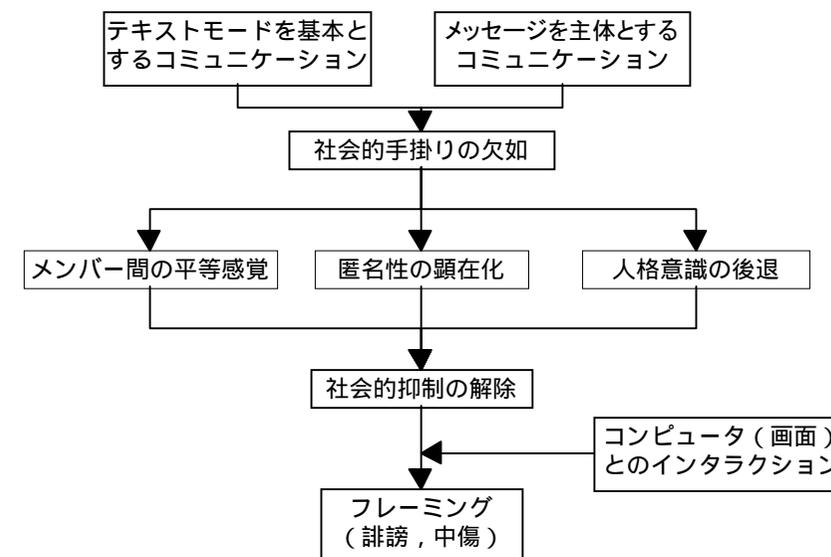


図1 フレーミングの発生の図式(川浦, 1993)

9 . 安全性

コンピュータは自由度が高い

さまざまな制約の解放

悪意をもって行なえば

情報の盗用(漏洩)

コンピュータ資源の破壊行為

ウィルス システムを破壊するようなプログラム
ハッキング システムに侵入して、情報を盗み出したり、システムを破壊する行為

10. テクノストレス

テクノ依存

機械親和性が高く、対人不全に

インターネット中毒

テクノ不安

機械の利用が苦手

11. 情報リタラシー

情報機器操作能力 　　いかに操作できるか？

情報活用能力 　　仕事に活用できるか？

情報送受信のモラル 　　情報を見極める

情報発信への責任

情報リタラシーが高い 　　情報リッチ

情報リタラシーが低い 　　情報プア

情報格差

情報リタラシーを高めるには

情報機器操作能力 　　実践的な学習

多くの利用経験

情報活用能力 　　知的興味（趣味的興味）

「知」へのアクセス

情報発信のモラル 　　不要な情報、公序良俗に反する情報は発信しない

自分の発信情報に責任を持つ

様々な意見があることを理解する

メッセージだけから伝達意図がうまく伝わらないことを理解する

まとめ

情報化社会（CMC が中心）

光の部分

距離の制約の解放

時間の制約の解放

対象の制約の解放

社会的制約の解放

自己開示の制約の解放

ハンディキャップの解放

偏見、格差の解消

影の部分

情報過多

情報発信のモラルが低い

情報盗用

コンピュータ資源の破壊行為

テクノストレス

情報格差

情報送受信のコストの制約の解放

心理的コストの低いコミュニケーション

便利な道具 　　危険な道具

情報リタラシーを高め上手に使う

参考文献（順不同）

川浦康至・川上善郎・宮田加久子・栗田宣義・向後千春・諸井克英・成田健一 1996 メディア

サイコロジー - メディア時代の心理学 - 富士通経営研究所

みんなのねがいネット（編） 1994 障害者のパソコン・ワープロ通信入門. 全国障害者問題

研究会出版部

松尾太加志 1999 コミュニケーションの心理学 - 認知心理学・社会心理学・認知工学からの

アプローチ - ナカニシヤ出版

前回の内容

1. 情報化社会とは

2. 顔の見えないコミュニケーションの「易しさ」

3. コーヒーとビスケットの神話

4. CMC (Computer Mediated Communication)のしくみ

5. 格差のない情報発信

6. 心理的コストの低いコミュニケーション